

2023年3月31日

九州電力株式会社

新小倉発電所リプレースに関する環境影響評価の準備を開始します

当社は、新小倉発電所（福岡県北九州市）において、高経年化が進む既設LNG（液化天然ガス）発電設備3号機と5号機について、CO₂排出量が少ない最新鋭の高効率LNGコンバインドサイクル方式^{※1}の発電設備へのリプレース（建て替え）を本格検討するため、環境影響評価（アセスメント）の準備を開始しますのでお知らせします。

※1 ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた高効率の発電方式

高効率LNGコンバインドサイクル方式は、CO₂排出量低減が可能であり、また、出力調整機能に優れていることから、発電量が天候に左右される再生可能エネルギーの導入拡大にも寄与できます。

当社は、カーボンニュートラルの早期実現に向け、今後とも電源の低・脱炭素化に取り組んで参ります。

[現発電所の概要]

発電所名称	新小倉発電所 ^{※2}
所在地	福岡県北九州市小倉北区西港町64-1
3号機概要	60万kW、LNG、コンベンショナル方式 ^{※3} 、1978年度運転開始
5号機概要	60万kW、LNG、コンベンショナル方式 ^{※3} 、1983年度運転開始

※2 4号機は2022年3月廃止

※3 蒸気タービンによる発電方式



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。

以上